

# SLAVESTATE

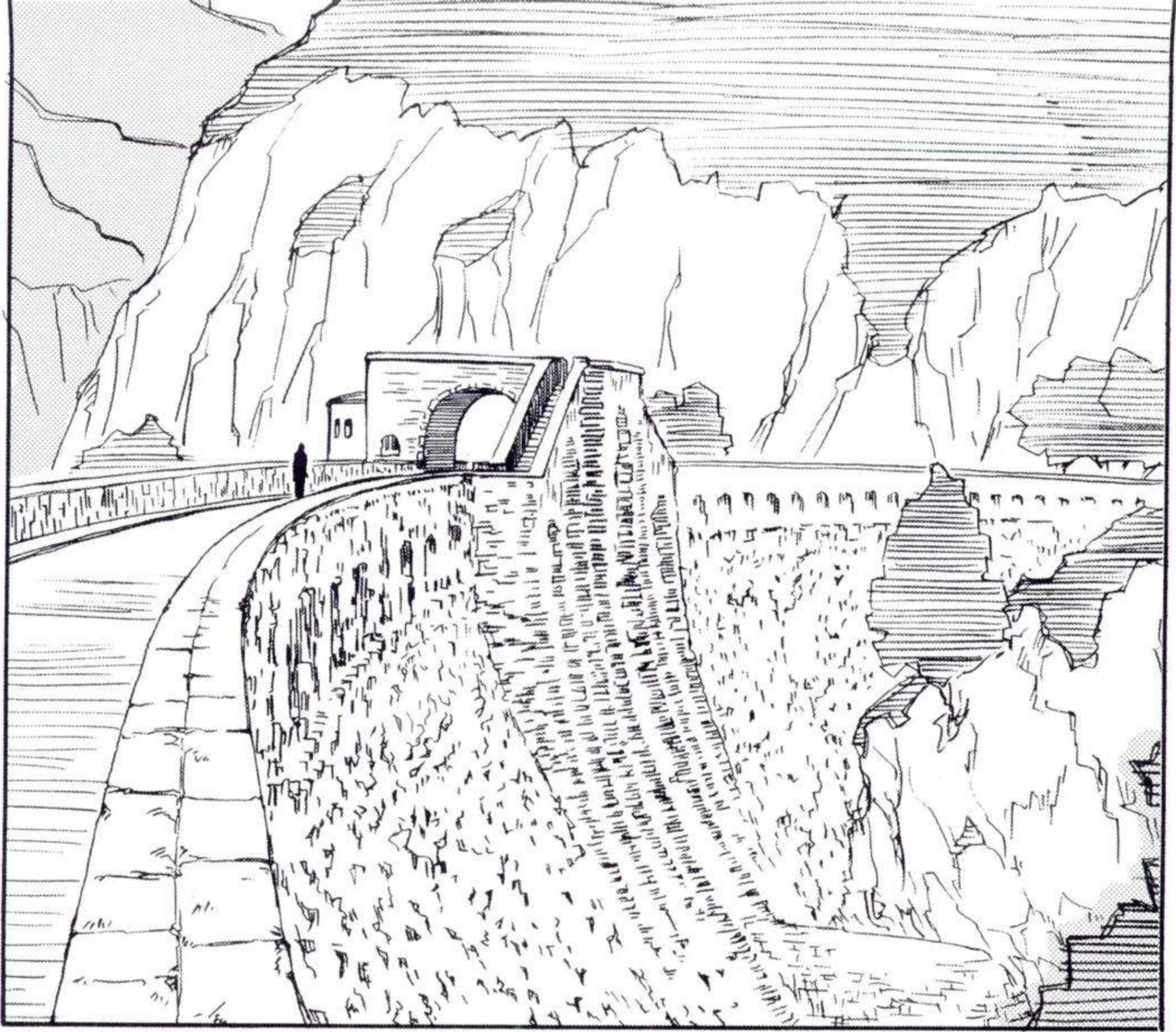
for ADULTS only.



**SLAVESTATE**  
**PLANETPORNO20041230**

**i wish you felt the way i still do.**

**-- cut / the cure**





ちよっと  
いいかな？

!?

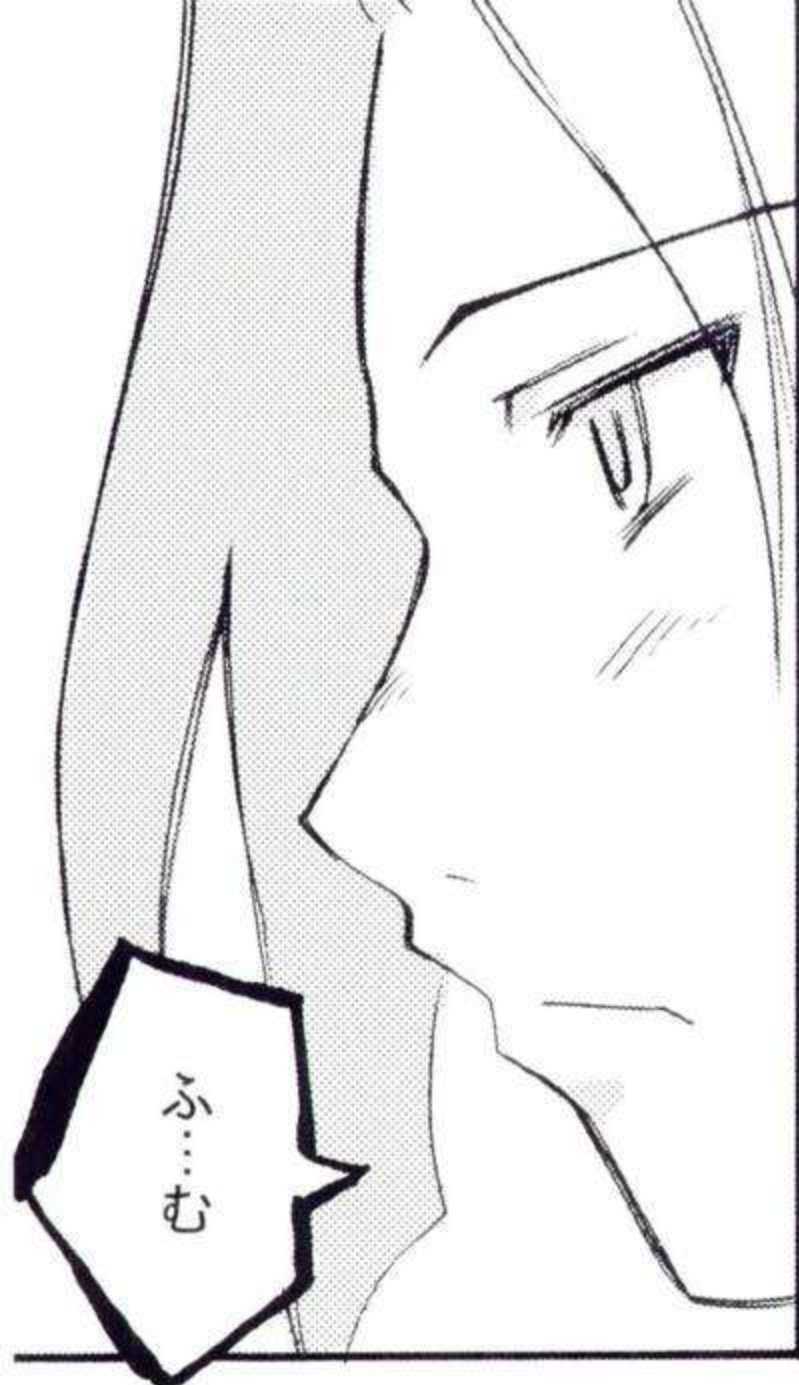
なッ…  
お前どっから…

俺の事は  
どうでもいい



あんたの主人に  
来客があったら？  
三日前にここを通った

ああ…うん…俺は  
館の方にいたんだが  
…女だろ…うん…



ふ…む



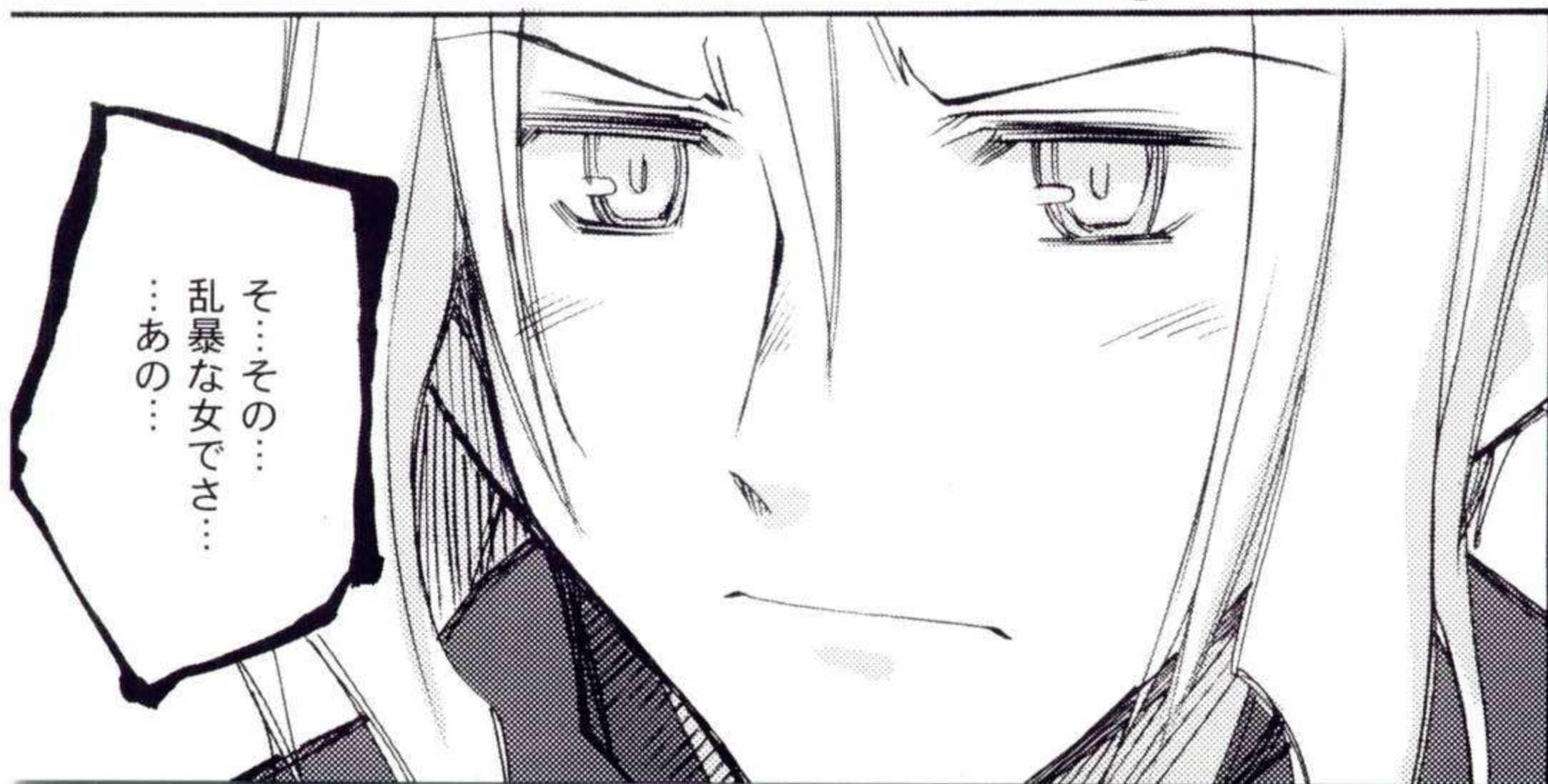
か…館守の所に  
いるはずだぜ  
昔の同行者  
だとかで…



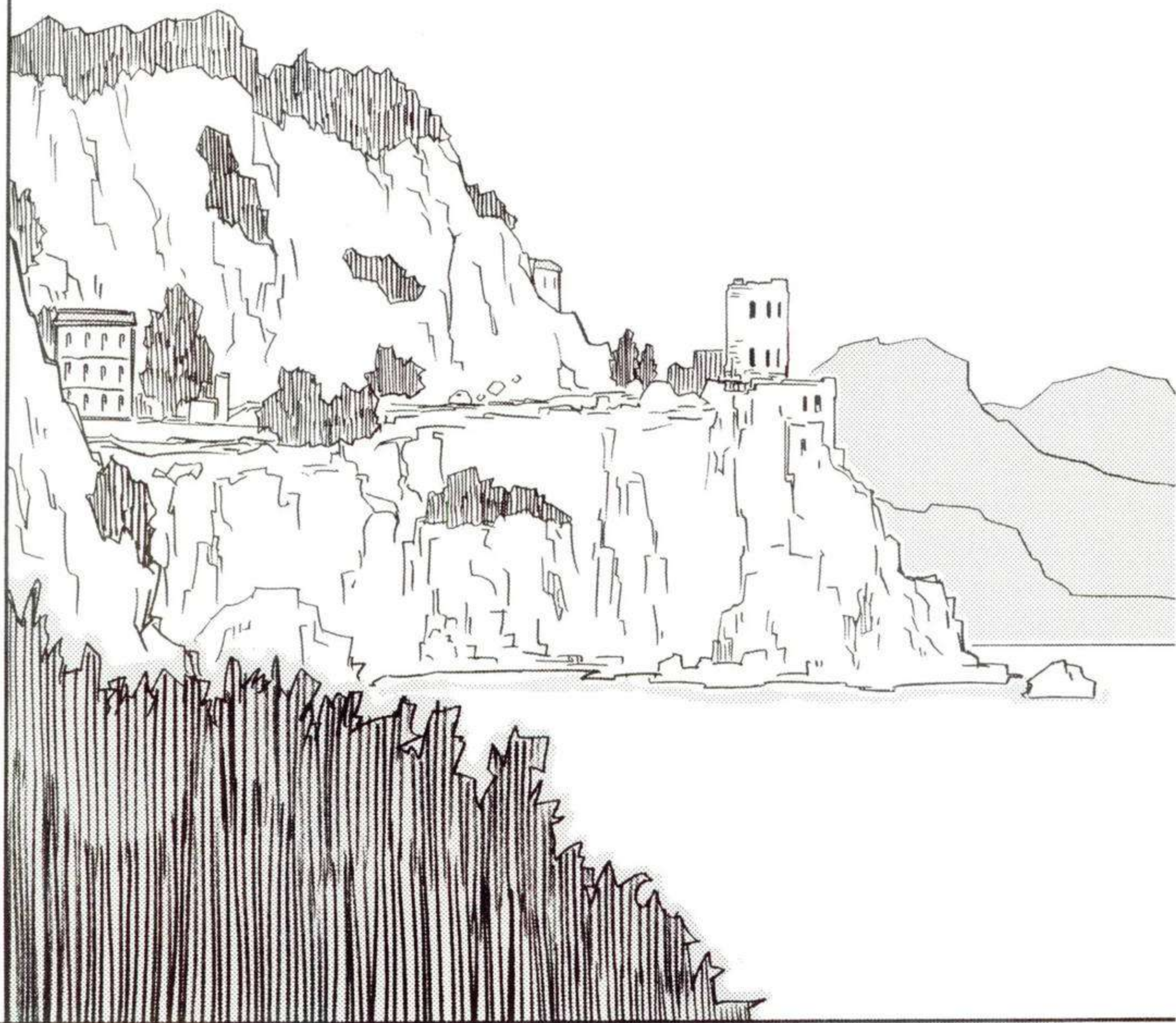
…ところで  
あんたその鼻  
どうしたんだ？

いせ…

07

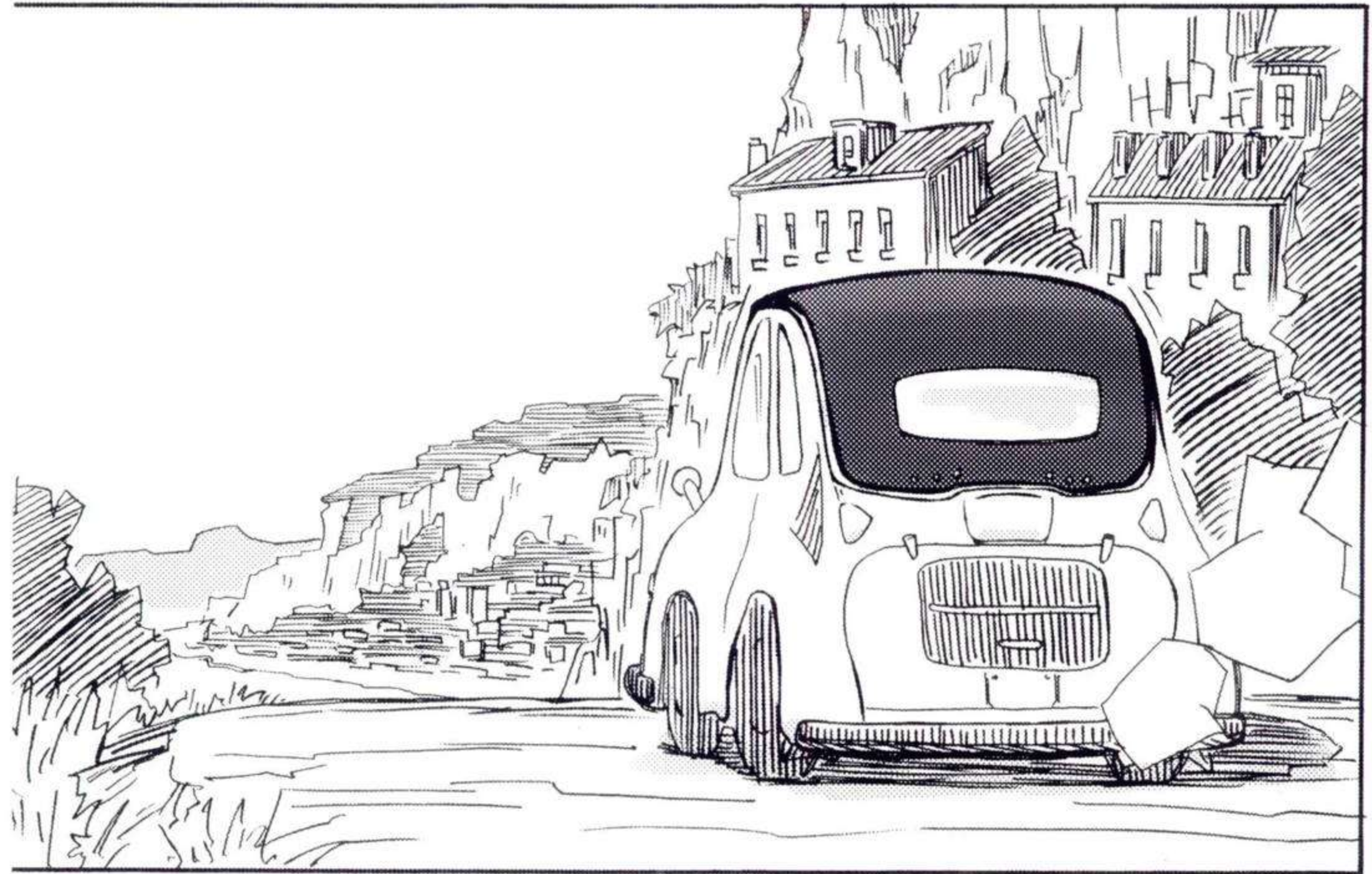
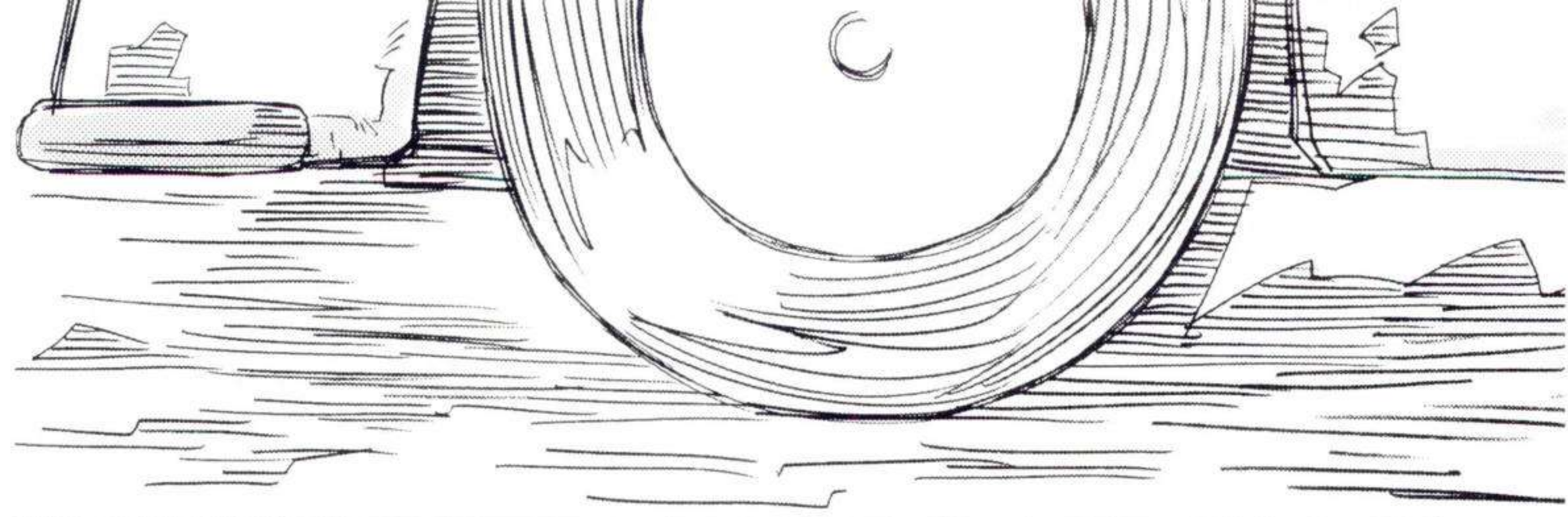


そ…その…  
乱暴な女でさ…  
…あの…

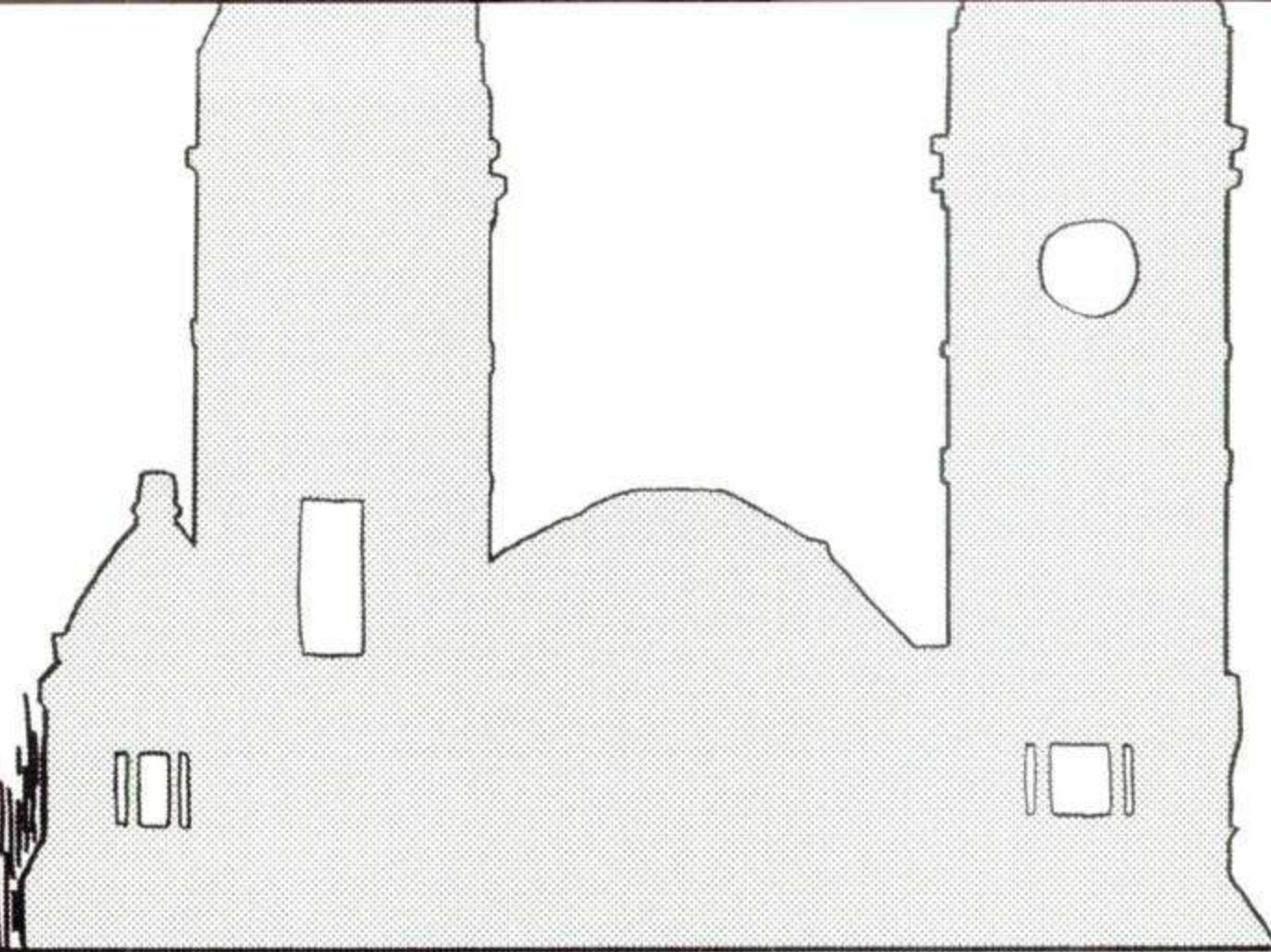


# 「己を恃む者・a」


- The Possession -







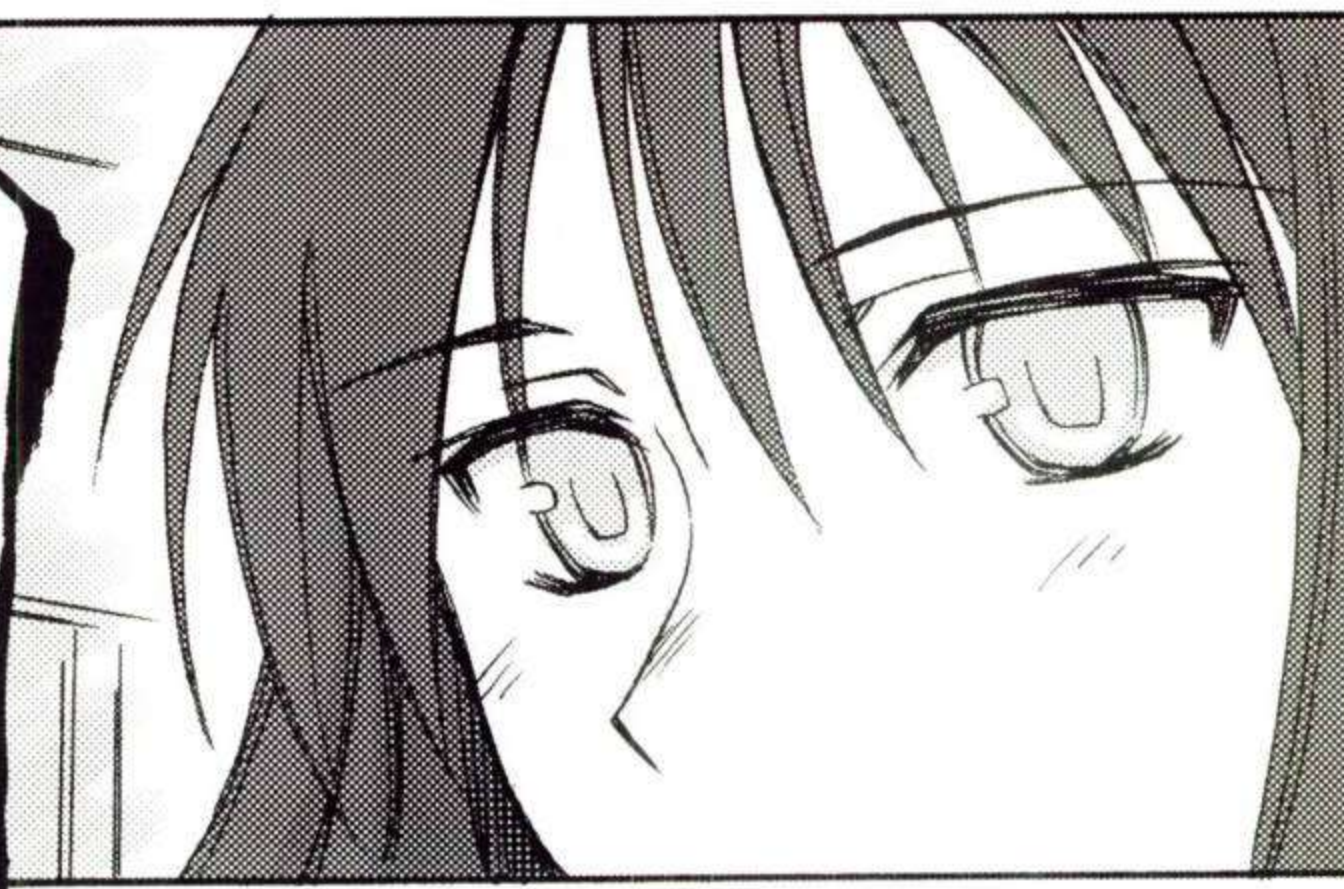
結局はマッチロックや  
フリントロックの  
世代の機構ですよ  
雷管だってどこでも  
手に入る訳じゃないし



再装填の問題は即応性の  
低下に直結するし  
要するに幾らでもより良い  
選択肢はあるのに  
師匠はその…

私にはこれが  
性に合っ  
ています

そこ！  
それですよ



…うちのジイさん曰く  
「銃器の選択に性能よりも  
個人のこだわりを優先させる  
理由があるとすればそれは  
斗争を自己実現の手段と  
捉えているからに  
ほかならない」



直進性・制動性の点で  
精密射撃に最適だから  
こそその競技用ですよ？  
大穴空けるばかりが  
能じゃないんです

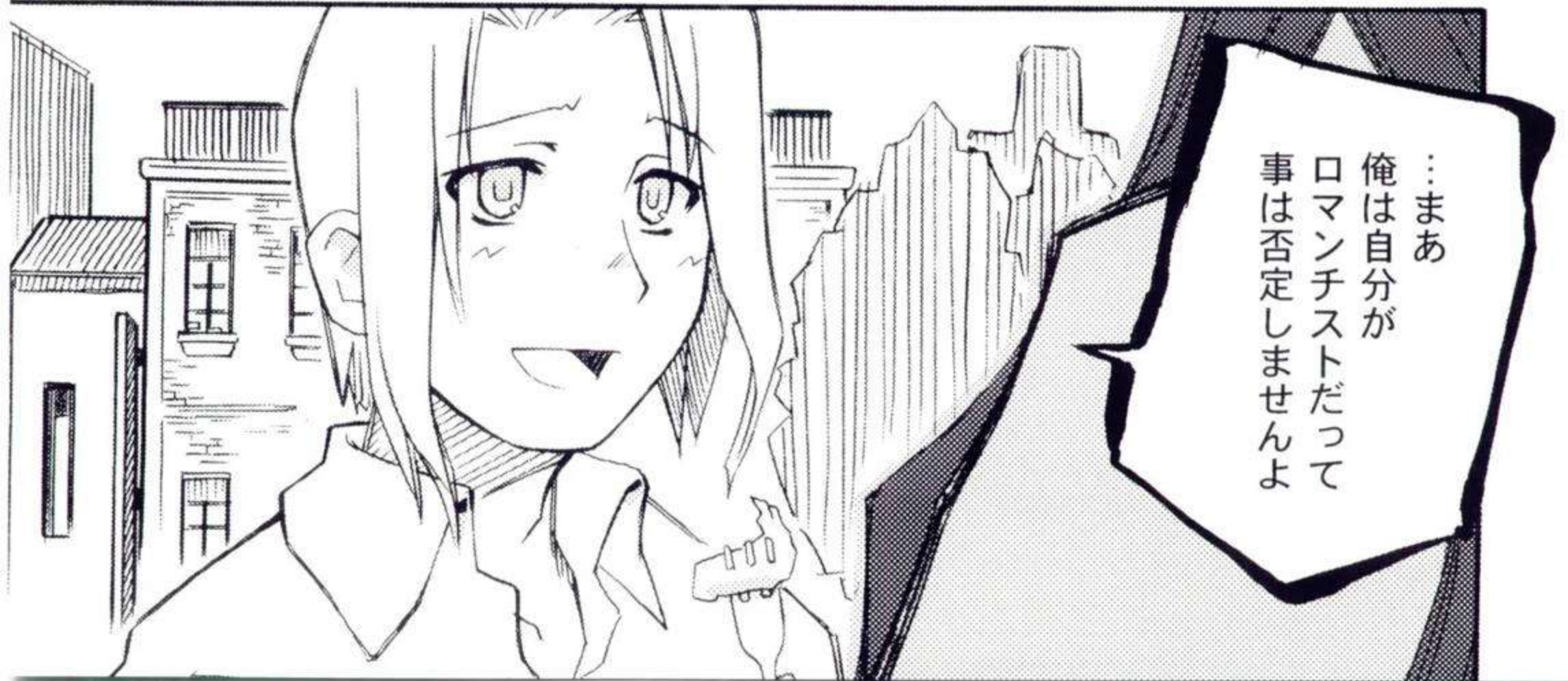


あなたの自動式も  
競技用でしょう  
対人戦に向いている  
とは思えませんが

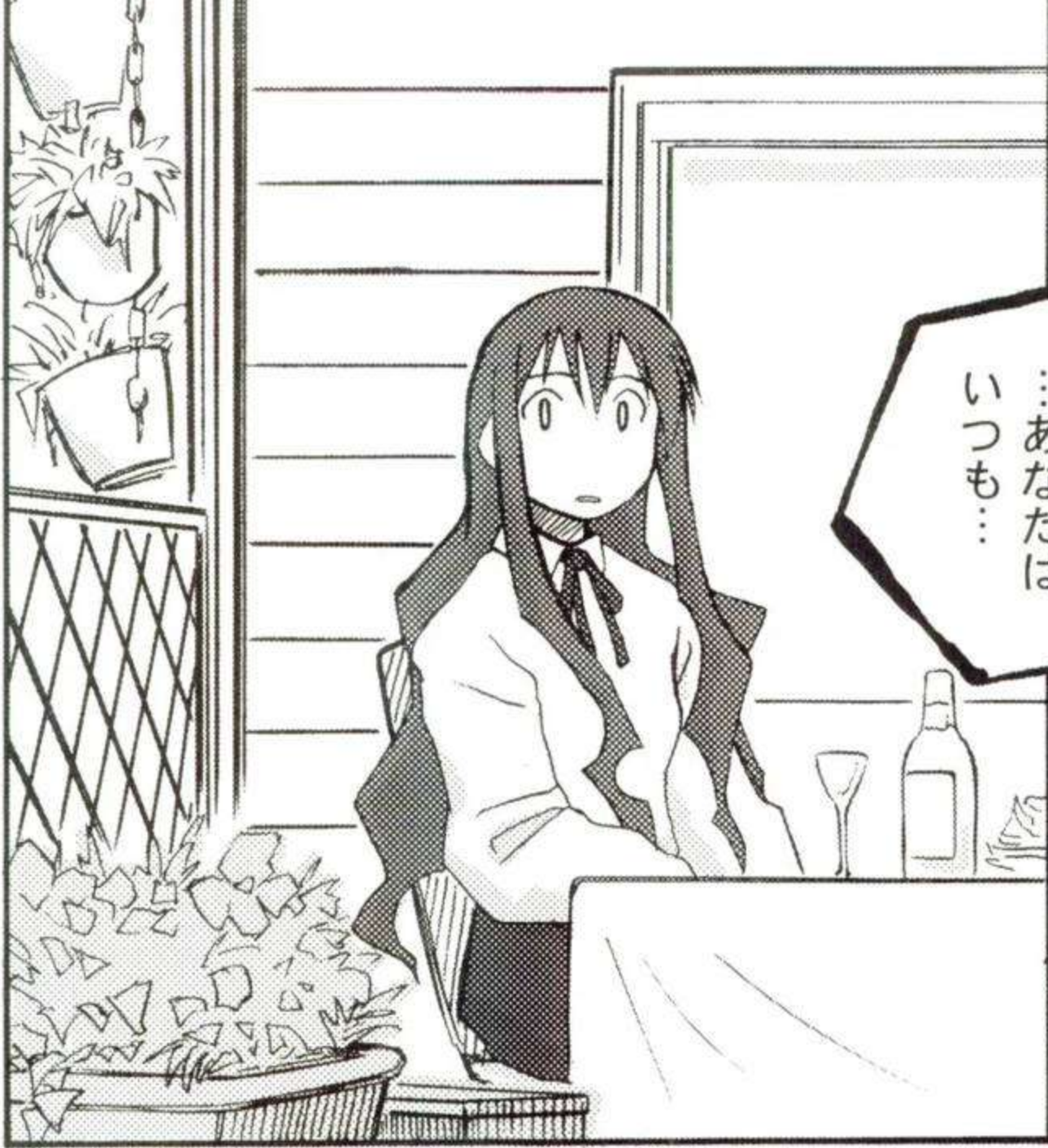


サプレッサーが  
最高に効果を発揮  
するものこの：

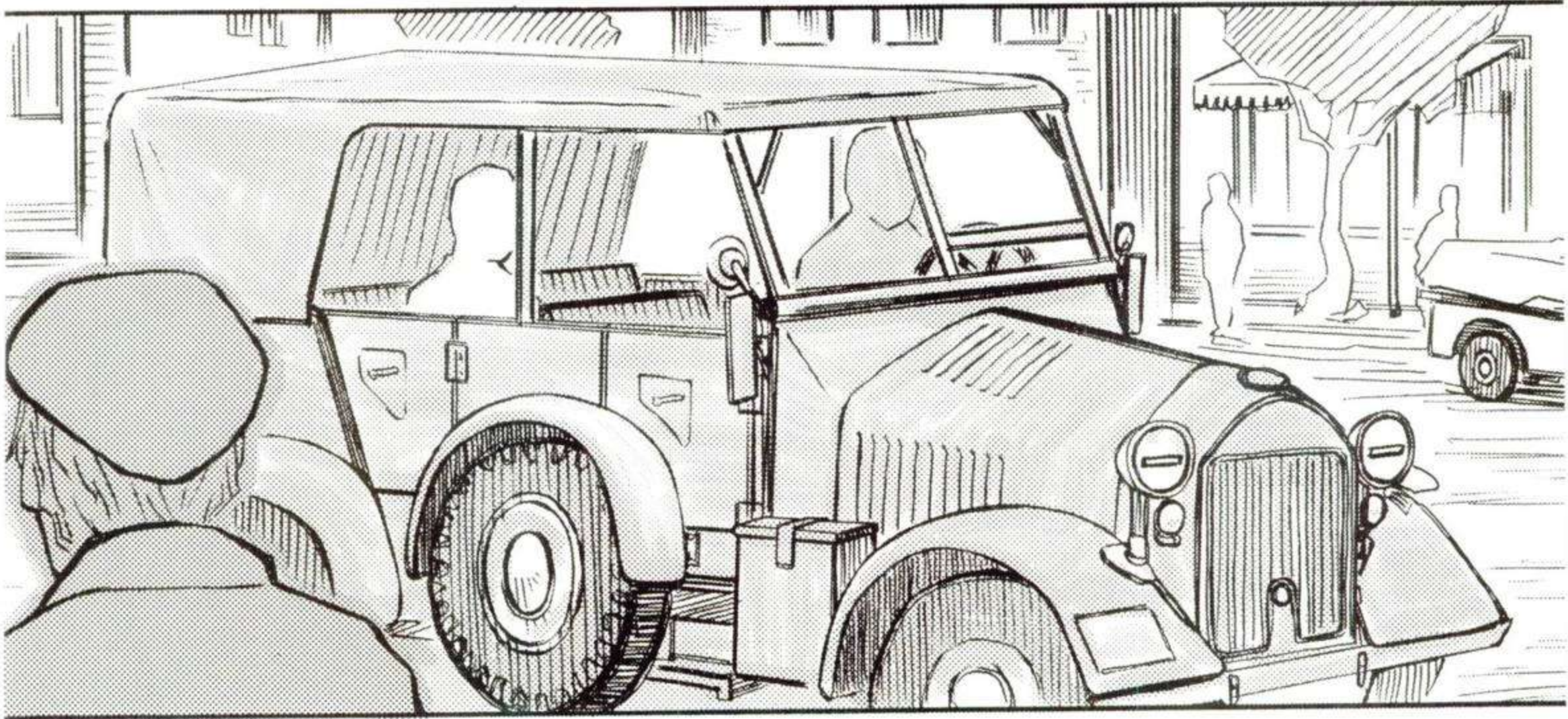
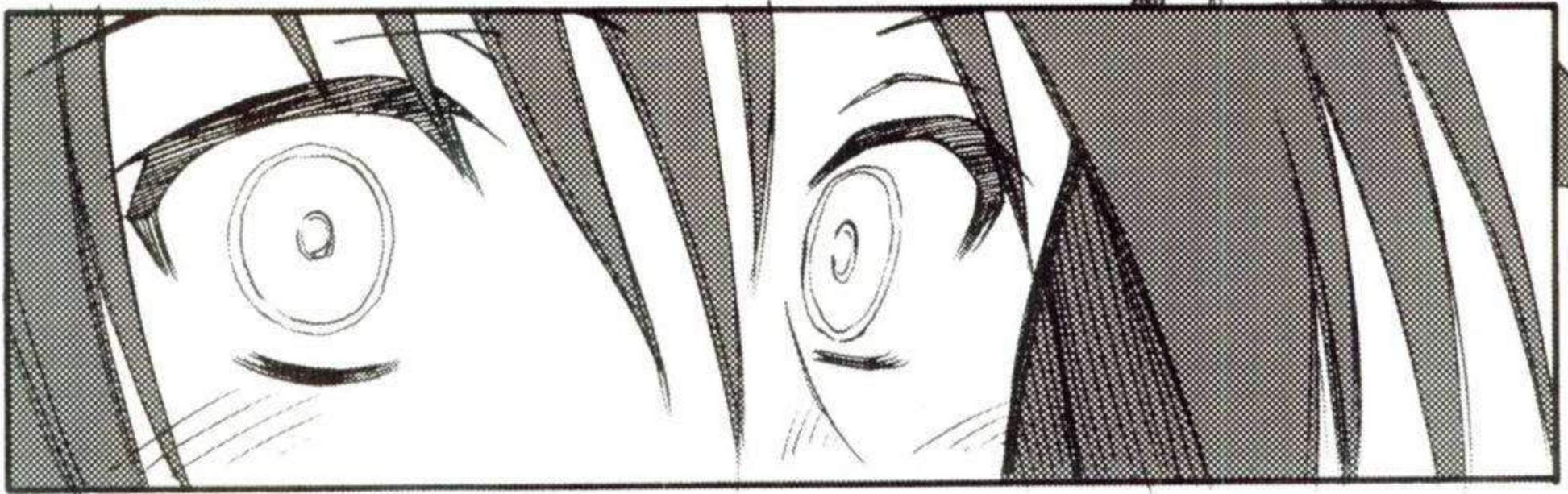
「ガキの頃  
からの愛用品です  
これだけは  
手放せなくてね」

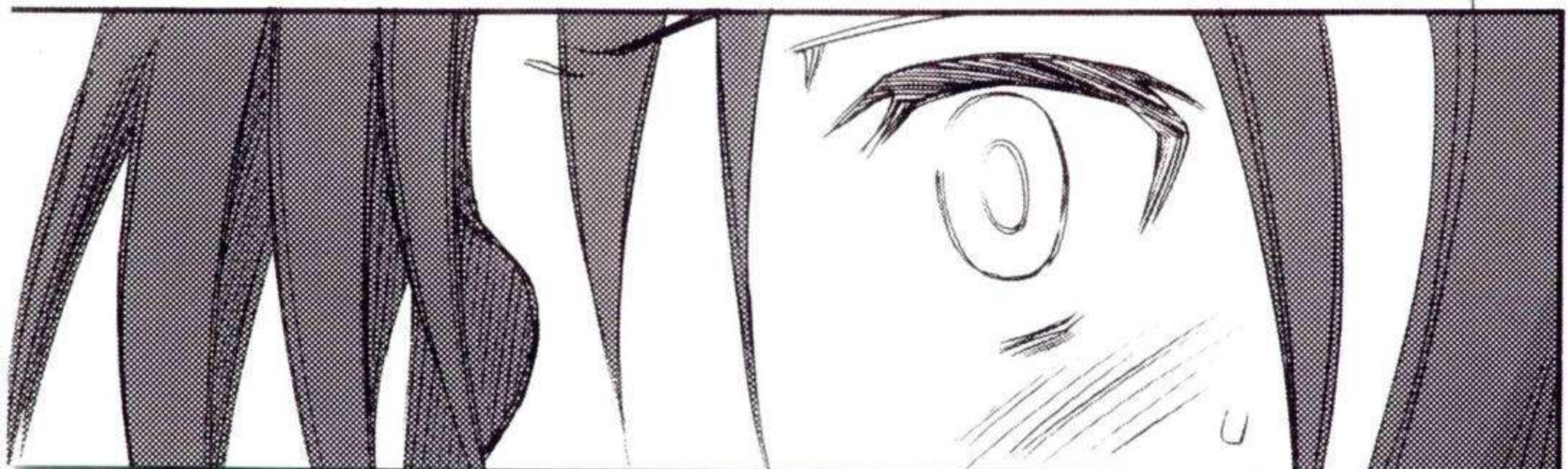
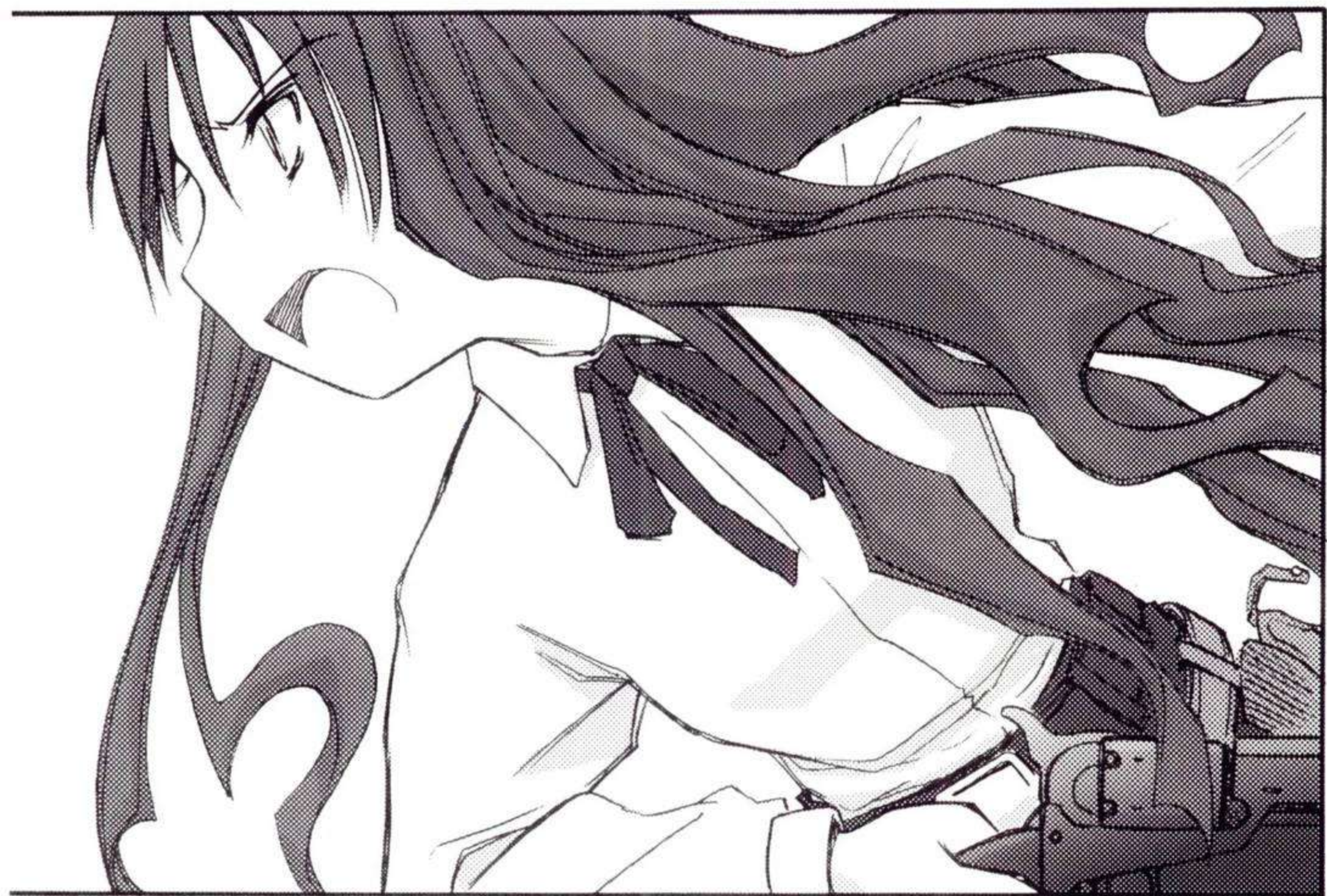


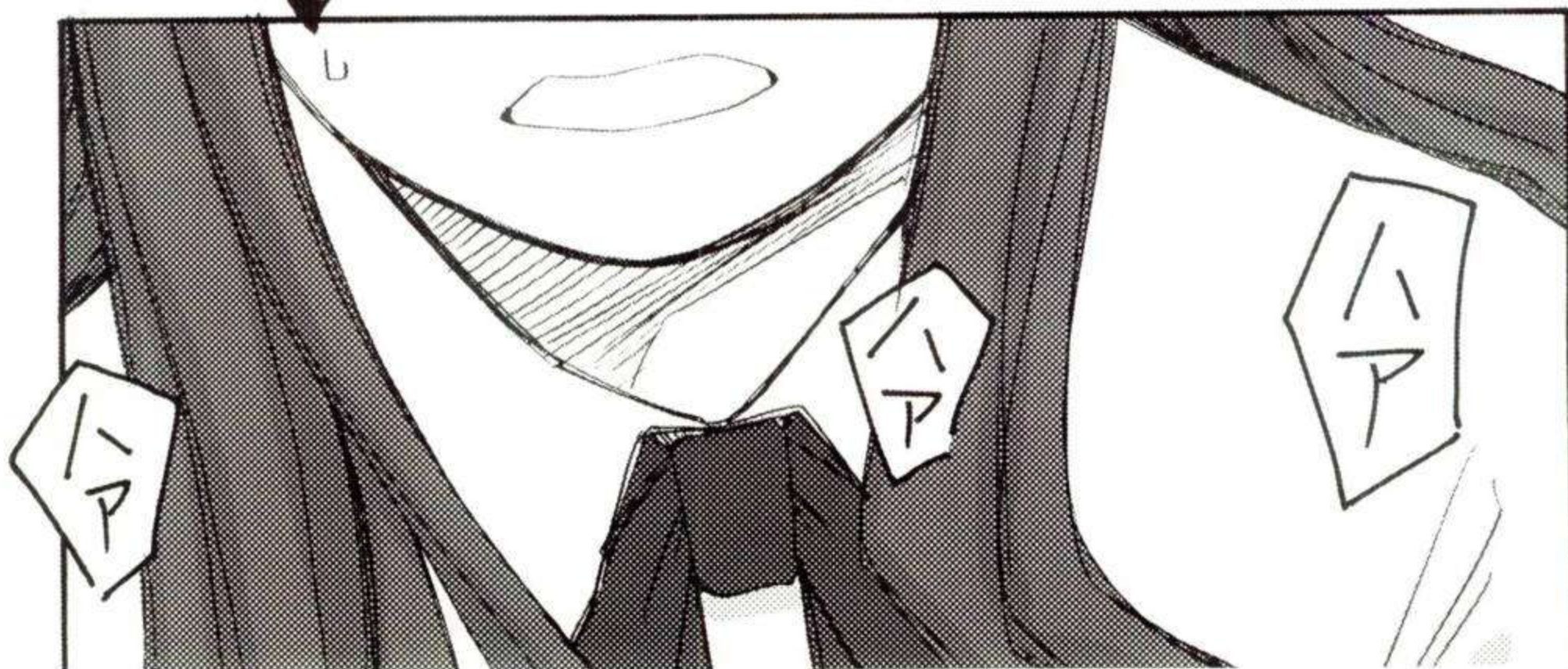
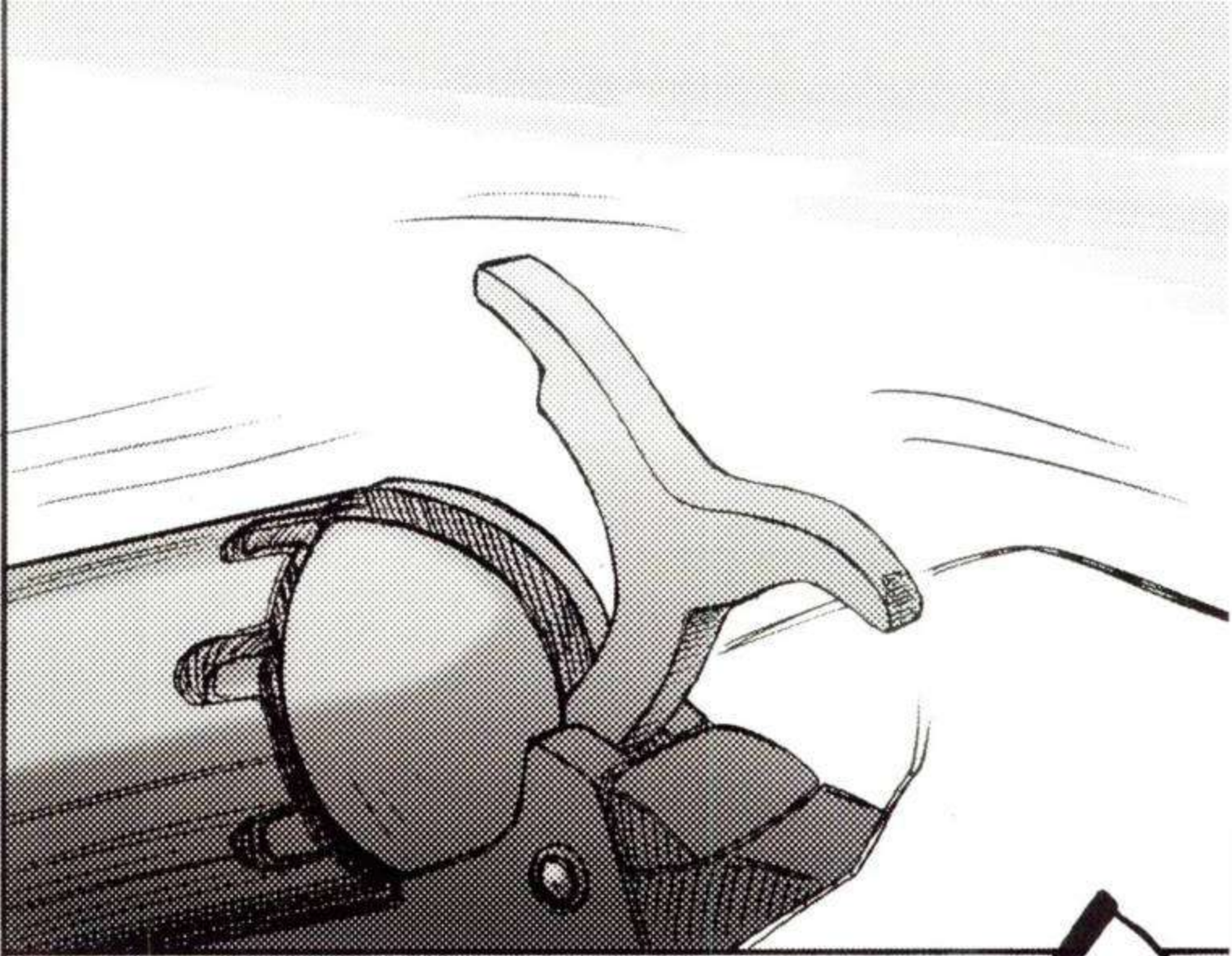
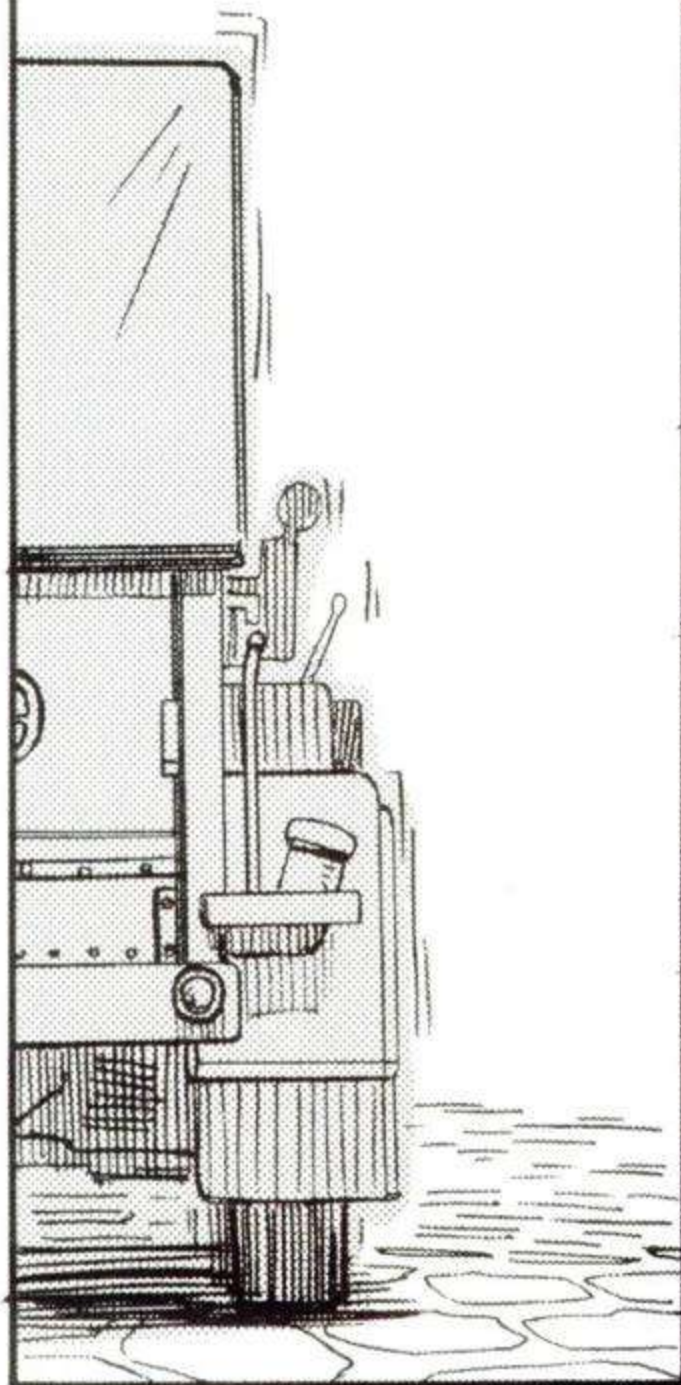
…まあ  
俺は自分が  
ロマンチストだって  
事是否定しませんよ

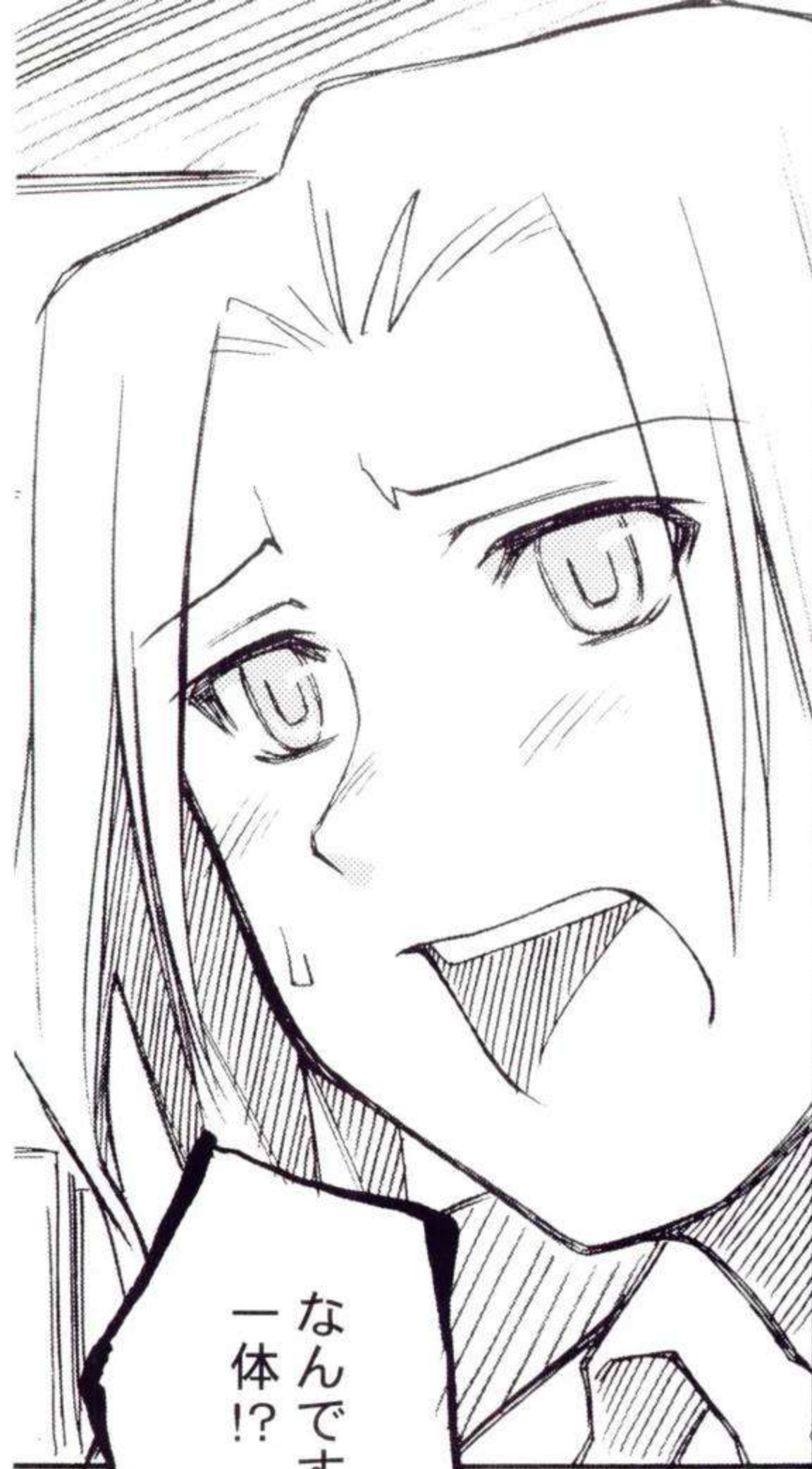


…あなたは  
いつも…



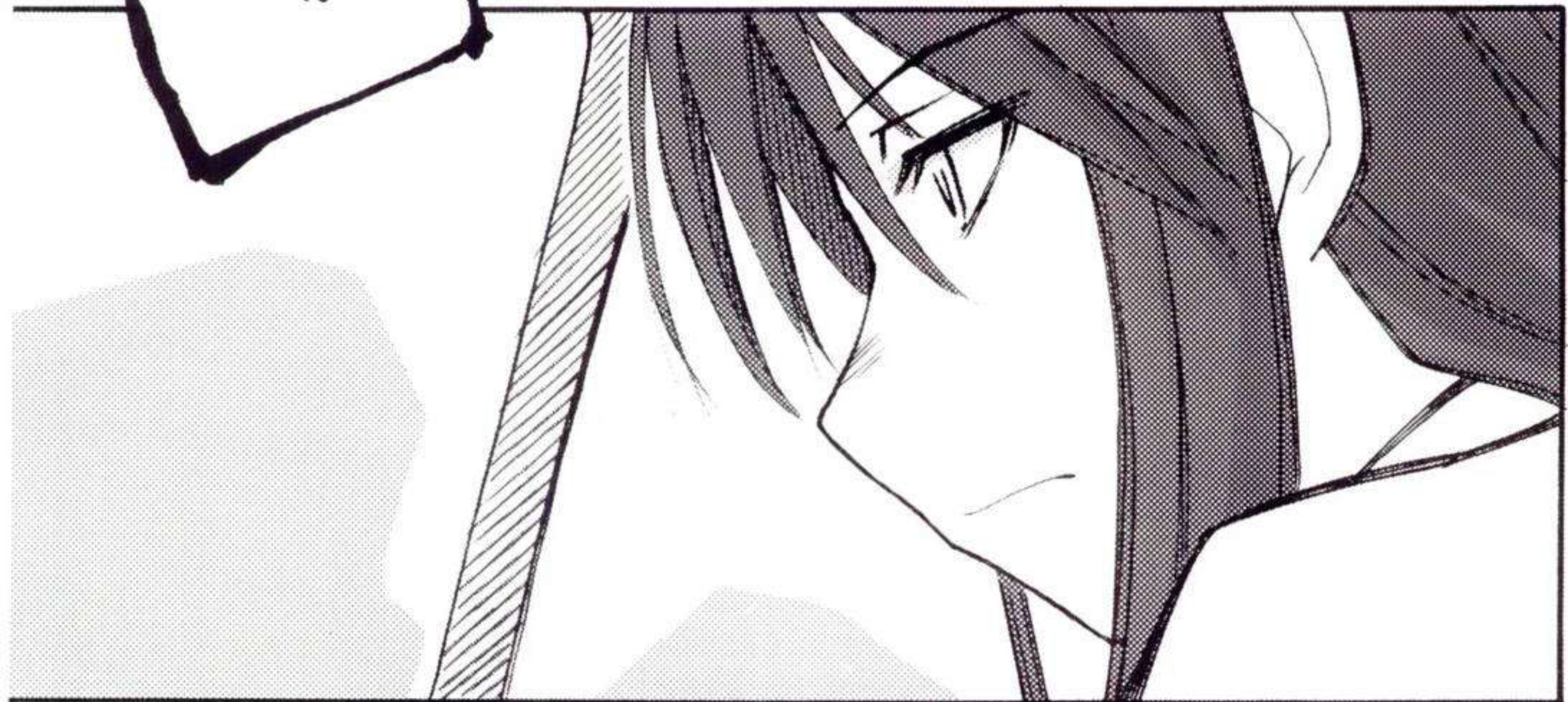






なんですか  
一体!?

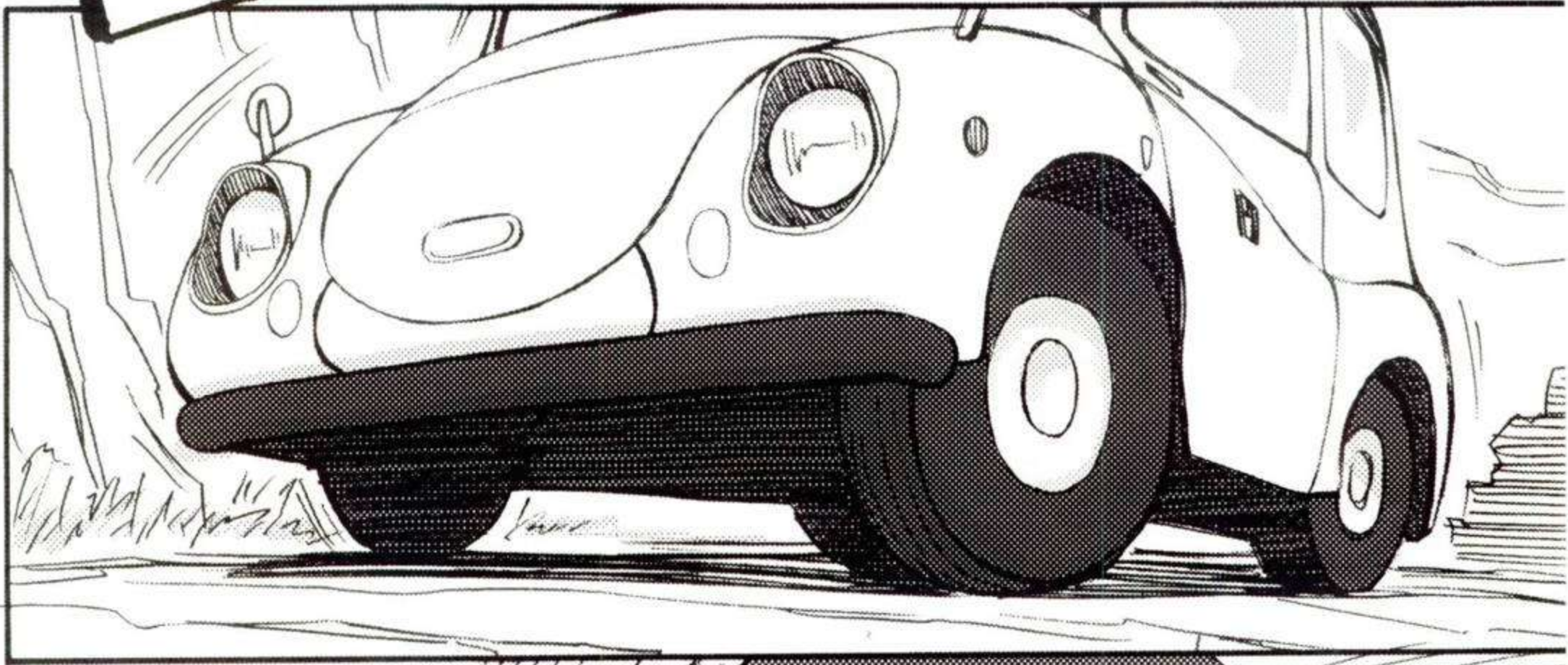
ねえ  
師匠!





…迂闊でした  
この国の名は  
あの男の姓と同じ…

なんですか？  
誰の事ですか？




ここからなら  
歩いて戻れます

ちよっ  
…!




降りなさい



何だか  
知りませんが  
俺も手伝い  
ますよ！

…自信が  
ないのです



な…だったら  
なおさら…

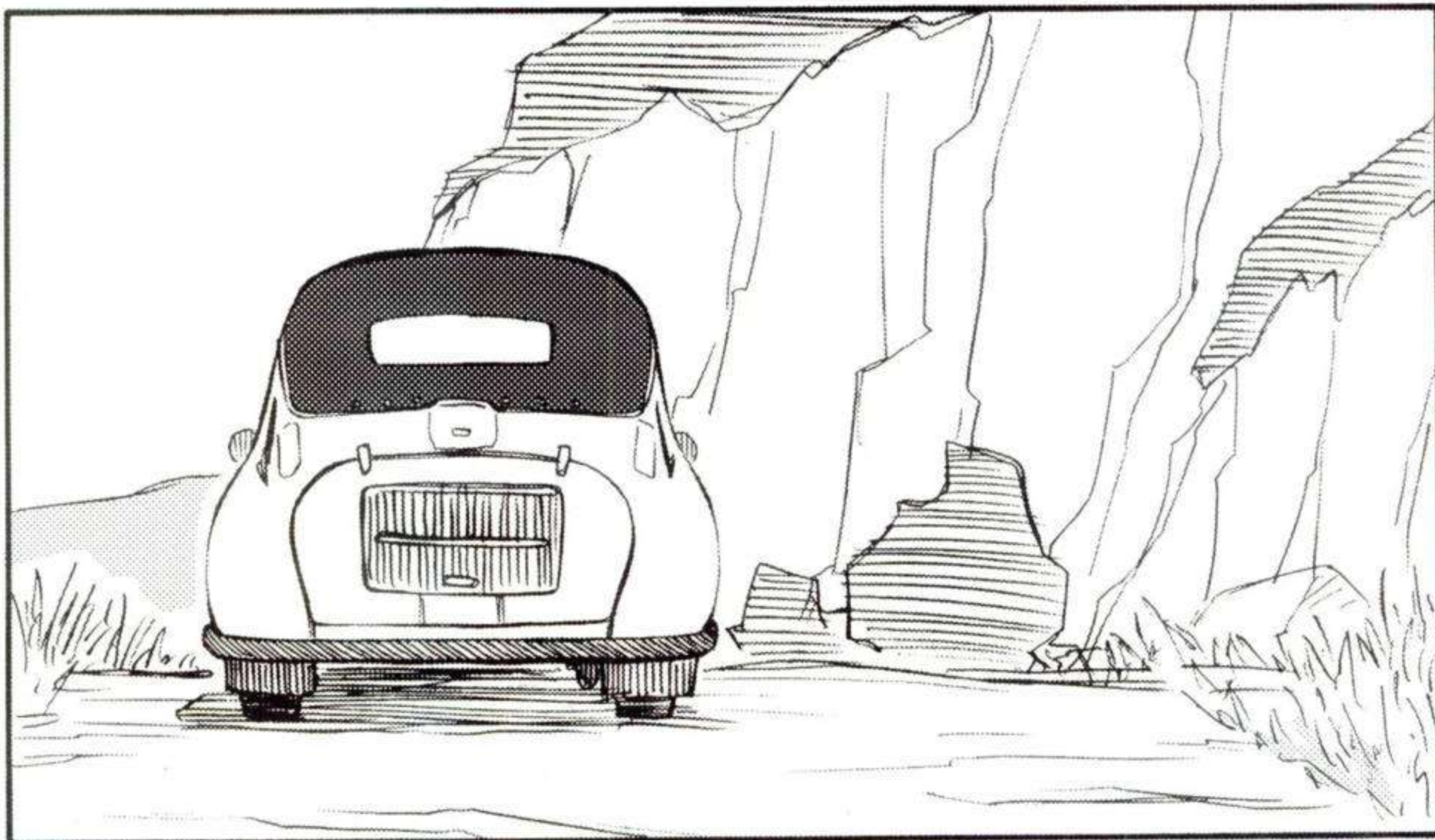


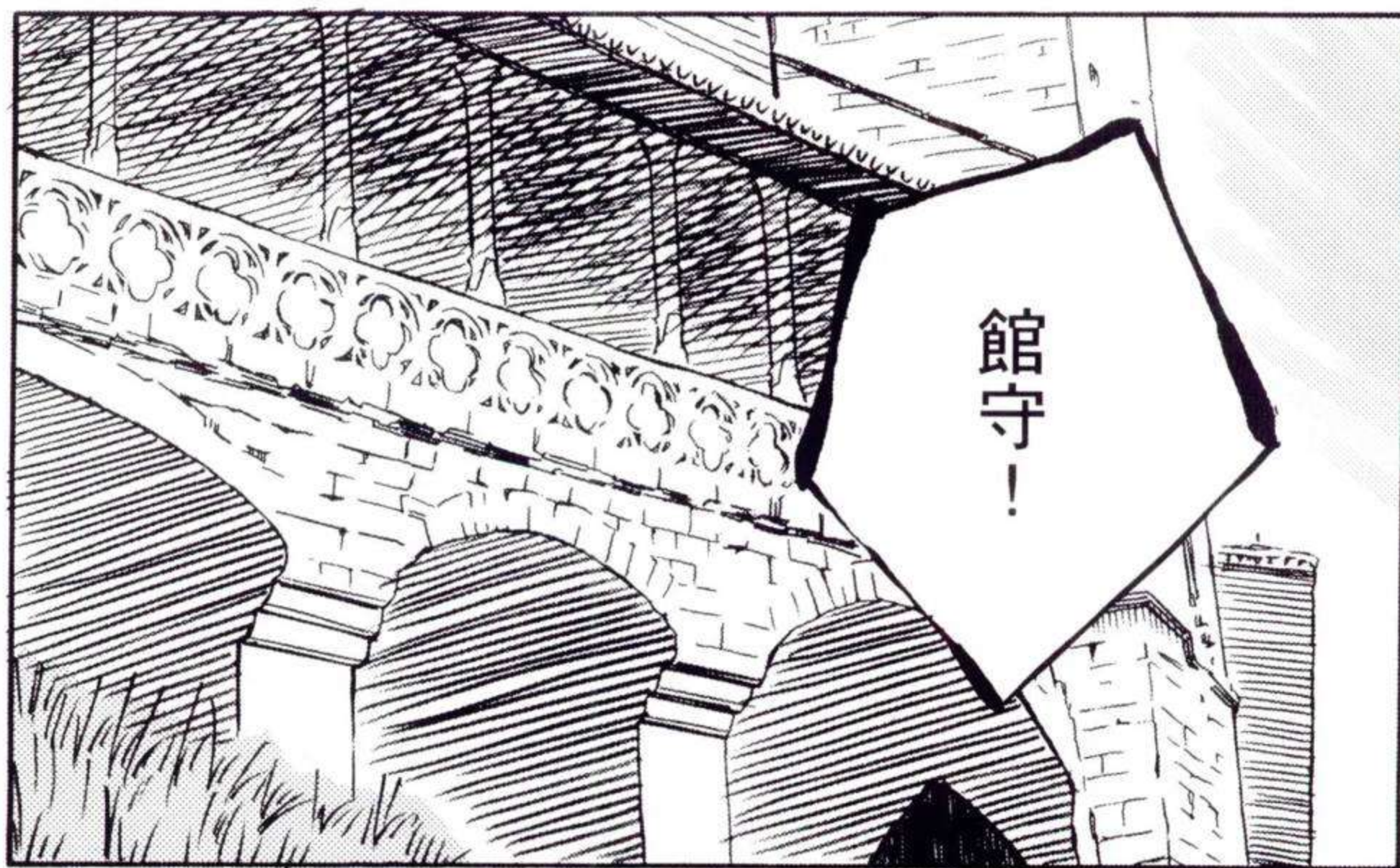


：私は私で  
いられる自信が  
ないのです



：だから  
お願い：







この女が話が  
あるそうでね：  
持っていた銃は  
預かってあるんで



私は忙しいんだ  
後にして  
くれないか



あなたに  
聞きたい事が  
あります！

私には…

おい  
大人しく  
向こうで…



その権利が  
あるはずですよ！！



私はあの頃ほど気楽な  
境遇ではないんだ  
君は相変わらずの  
ようだが…



…で  
何だね？  
見ての通り…



…なぜ  
私を置いて  
逃げたのですか



困にしたとまでは  
言いませんが…  
あの時あなたの指示で  
動いた結果  
私は捉えられ…



ど・そ・れ・が  
う・し・た



パートナーならば  
助けもしただろう…  
だがあの頃の君は  
私の所有物だった



君は自由な人間か？



それとも…  
今でも  
そうなのかな



どう  
なんだ？

……



やはり君は  
相変わらずの  
ようだな：



ひ……あツ  
!!

お  
じ

……は……  
あツ……あ……

ツ  
ツ

ツ  
ツ





呆れたものだよ  
何をしにここに来た  
つもりだったんだ？

ひッ…  
…あ…



町で見かけても  
引き鉄を引けず  
挙げ句に武装解除  
にさえ応じた…

…ッ…  
それ…は…




は……あ……

あ

またこの  
境遇に戻りたく  
なったのか……？

……ん  
ッ

ズッ



そんな事…は…  
…ありません…



ん…あッ…



あッん……

あ……はっ……

ちゅっ

すん

ひ……あぁッ!!

アッッッ

ん……く……

アッ

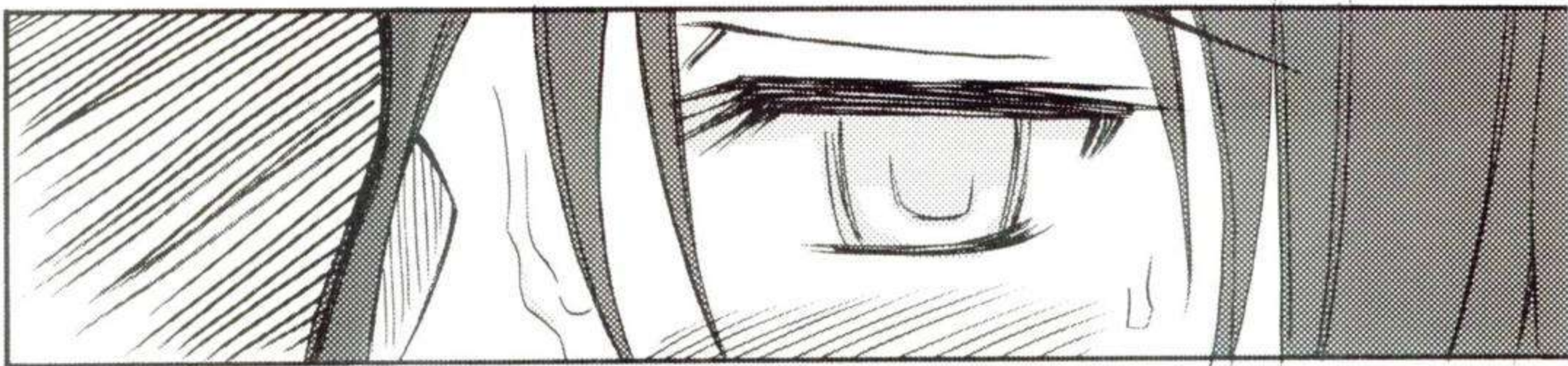


どうかね  
今まで自分の中に  
入っていたものの  
味は…？

ん…

あッ







◀◀ **TO BE CONTINUED.**

# **AFTERWORD:**

■こんにちは。

■今回は師匠本です。

■そして困った事に今回の本は前後編の前編な訳です。

■準備段階で60ページ分くらいのシナリオができてしまったので、冬コミまでに全編を描き終えるのはムリだと2冊に分ける事にしたのですが、おかげで師匠と弟子の本だと予告していたのに、この本ではちっともそういう内容になっていません。

■後編は春レヴォだと間が開き過ぎるので、3月頃をめどに作業するつもりでありますよ。

■それにしても師匠の本を3冊もやる事になるとは思わなかった…。

■で、前編だけなのに内容について書くのもなんなんですけど少々。

■今回の話は御覧の通り、ちょっと原作にない部分を勝手に作り過ぎな感じなのですけれども。

■僕は元々パロディの本を作るのにオリジナルの設定やキャラクターを出すというのが好きではなかったのですが、原作の形式が形式であるので、キノ本からは積極的にやるようにしている訳です。

■その延長で今回の話もこういう内容になったという事なんですけど、描いていてつくづく思ったのは、好きな作品でエロをやる場合にはオリジナルのキャラクターを使った方が精神的に楽だなあと。

■要するに原作の世界観を壊す事を、内側からするか外側からするかという話なんですけど。

■まあなんと言うか、架空の登場人物を無人格な情報として捉える事ができない人間としては、あれこれとクヨクヨ考えるんですよ。

■特にネガティブな傾向の話だと（僕はそんなのばかりですが）、無責任に話を考えている時は気にならなくても、絵を描いて言葉を喋らせている内に、色々な意味でツラくなって来たりする訳です。

■まあ、そういう事も含めてストーリーテリングは楽しいのですが…。

■それと最後に、今回はトーンを峠くんに遠隔的に手伝ってもらったので感謝を。

■これは塗っている内に締め切りを過ぎてしまうかも…と思いながら師匠の髪を描いたんですが、おかげでなんとかなりました。

■と言うかむしろ普段より全然トーンを入れられたよ。

■ありがとう。

■えー、そんなところです。

■それではまた。

2004年12月21日

山寧/PLANET PORN0

# **SLAVESTATE**

**PLANETPORN020041230**

**peace@js7.so-net.ne.jp**

**<http://www011.upp.so-net.ne.jp/peace/index.html>**

**Printed by BRO'S.**

**P L A N E T P O R N O**  
**2 0 0 4 1 2 3 0**